



おなだか 勝 事務所 | 〒173-0034 板橋区幸町51-9 TEL 03-3554-0965 FAX 03-5966-9595 e-mail onamasa.10.10@jcom.home.ne.jp

## 板橋区議会議員

### おなだか 勝 プロフィール

- ・昭和35年 浅草生まれ 54歳
- ・昭和48年 板橋区立大山小学校卒業
- ・昭和51年 板橋区立板橋第二中学校卒業
- ・昭和54年 東京都立小石川高校卒業
- ・昭和59年 東京学芸大学教育学部卒業
- ・昭和63年 結婚
  - 妻-小学校教諭
  - 長男-小・中・高一緒 会社勤務
  - 次男-小・中・高一緒 大学3年生
  - 長女-小・中一緒 大学2年生
- ・平成7年 板橋区議会議員選挙初当選



平成7年当時の私



今の私

### 当時の「3つの提言」をしっかりとやらせていただきました

- ① 行政改革の断行
- ② 登校拒否、いじめ問題の根絶
- ③ スポーツを通じた青少年の健全育成推進

### 平成23年(5期目)の選挙公約

- ① 議会基本条例の制定
  - 昨年12/15に可決成立
- ② 区民報告会の定例化
  - 昨年5/19に23区初の議会報告会開催
- ③ 被災地、被災者への復興支援の推進
  - 大船渡市への職員派遣
  - 大船渡市産直販売の実施 被災地への寄付金送付



議会報告会



大船渡支援

### 次期は何をするか

1. 補助26号線の延伸に伴う大山まちづくりと東上線立体化の早期実現
2. 安心・安全なあいキッズ運営の推進
3. 議員の費用弁償(1回3千円)の廃止
4. 認可保育園の増設で待機児童の解消
5. 区内業者を優先しつつ、公平・公正な契約制度の確立
6. 安心できる介護支援制度の充実
7. 利用者立場での板橋交通公園の改修
8. 議会報告会の定例化

もちろん  
身近なお困り事は  
遠慮無く  
ご相談  
ください!!

### おなだか 勝 区政報告会のご案内

恒例の区政報告会並びに懇親会を下記のように行います。お誘いあわせの上ご参加下さい。

- ◇日時 3月8日(日) 午後6時半開会
- ◇場所 板橋区立グリーンホール2階 板橋区栄町36-1
- ◇会費 3,000円(当日お支払いください)
- ◇申込み メールまたはFAXでお名前・ご住所をご記入いただきお申し込み下さい。

区政に対する、ご要望・ご提案・ご質問をお寄せください。真摯にお応えいたします!

板橋区議会議員

## おなだか 勝 事務所

〒173-0034 板橋区幸町51-9 <http://onamasa.com/>  
 電話:03-3554-0965 FAX:03-5966-9595  
 メールアドレス: onamasa.10.10@jcom.home.ne.jp

## 板橋区ホタル生態環境館

### 累代飼育は？ 2万匹のホタルはいたのか否か？

1月20日の区民環境委員会の報告で以下が明らかとなりました。

板橋区では、平成元年に福島県大熊町からゲンジボタルの卵を約300個譲り受け、交配を繰り返しながら、平成5年度にはホタル飼育施設を開設し、ゲンジボタル2万8千匹余、ヘイケボタル3万8千匹余が羽化し、以来、平成25年まで累代飼育を重ね、多いときには合わせて約20万匹のホタルが生息していたと報告されています。(最近10年では2万匹で推移)

板橋区ではホタル生態環境館(高島平4丁目、以下ホタル館)の老朽化に伴い、廃止も含めたあり方について検討をすることになり、昨年一月、ホタル館の立ち入り調査を実施したところ、見つかった幼虫はわずか2匹、推定23匹の生息数という結果が報告されました。(実際には昨年夏にゲンジ64匹、ヘイケ147匹の計211匹の生息が確認された)

しかし、このホタル館の担当一筋の元職員によると、立ち入り調査で7万匹のホタルの幼虫を流してしまったのではないかと毎年間違いなく、2万匹のホタルが生息していたと主張したため、さらに調査が続いていました。

### 【疑惑】

- ① ホタル館で元職員がハチの飼育をして販売業者と業務契約を結んだり便宜を図ったのでは？
  - 事実関係が明らかになりこの職員は昨年3月懲戒免職に(元職員は東京地裁に処分取り消しを提訴)
- ② ホタルが毎年、羽化して約2万匹が夏の公開をされていたのではなく、その多くを公開前に業者から購入していたのでは？
  - 平成25年6/7~8/15までの21回に渡る宅配業者の配達伝票が手に入り、花と書かれた段ボールや発砲スチロールがホタル飼育の委託業者のむし企画から、ホタル館に配送されていた。元職員はハイゴケだと証言するも、宅配業者は空気を運んでいるようだったと証言し、中身はホタルだったと推察できる。
- ③ 元職員は、福島県産のゲンジホタルを25年間交配し続けて累代飼育をしてきたとして、「ホタルの累代飼育システム及び方法」という特許をとり、各地の取り組みを支援してきましたが、本当に累代飼育はされてきたのか？
  - 昨年羽化したゲンジボタル13匹のDNA鑑定をしたところ、東北・北関東系のホタルは存在せず、ほとんどが西日本系で福島県産のホタルが累代飼育されてきたとは推定できない。



ホタル生態環境館

### 【総括】

- 累代飼育は行われておらず、夏の一般公開に合わせてホタルの成虫は購入されていた。もし、夏の公開のためだけにホタル館を運営するならば、委託費・人件費・水道光熱費等年間4千万円×25年間というここまで莫大な費用は必要でなかった。
- 元職員の研究熱心さに、行政も議会も口出しができなくなり、その研究成果も板橋区に帰属せず、誰もホタル飼育のノウハウを継承できない結果となり、疑惑や不正行為を明らかにする時期が遅れた。

⇒ 3月でホタル生態環境館は閉館となります。